

小規模事業者

# 経済動向調査報告書

<那珂市>

2023年7月～9月期

那珂市商工会

## 1. 目的

那珂市内の小規模事業者の景気動向等を分析し、その詳細な実態を把握し、市内小規模事業者に開示することで、経営に活用していただく。

## 2. 方法

市内の製造業、建設業、小売業（卸売業を含む）及びサービス業の小規模事業者から約 15 社をサンプルとして選出し、聞き取り調査を行う。

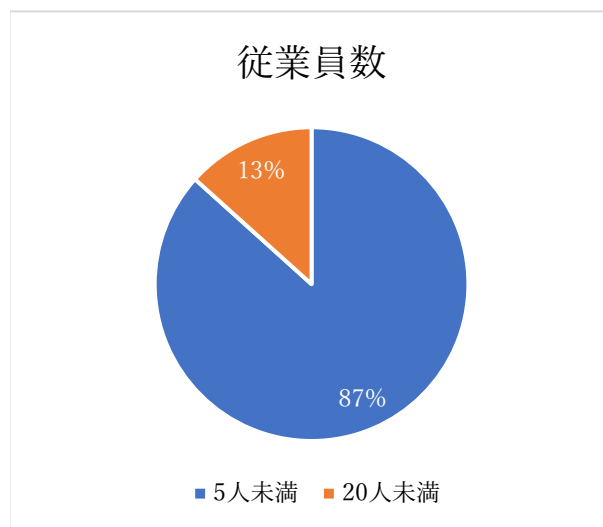
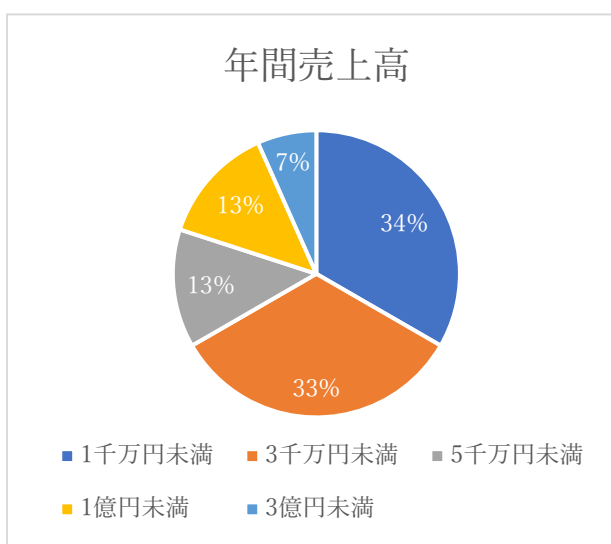
## 3. 調査事業者

- |               |     |
|---------------|-----|
| ① 製造業         | 3 社 |
| ② 建設業         | 2 社 |
| ③ 小売業（卸売業を含む） | 4 社 |
| ④ サービス業       | 6 社 |

## 4. 調査項目

- ① 売上高、販売単価、経常利益、資金繰り、人材確保及び景況感を聴取し、業種別に比較。
- ② 現在認識している経営課題を調査。
- ③ 近年の原油・原材料価格高騰の影響を調査。

## 5. 事業者の規模



## I. DI 分析

表1：2023年7月～9月のDI

	全体	製造業	建設業	小売業	サービス業
売上高	-40.0%	-66.7%	-50.0%	-75.0%	0.0%
販売単価	-6.7%	-33.3%	0.0%	-25.0%	16.7%
経常利益	-40.0%	-66.7%	-50.0%	-75.0%	0.0%
資金繰り	-20.0%	0.0%	-50.0%	-50.0%	0.0%
人材確保	-26.7%	-66.7%	-50.0%	-25.0%	0.0%
景況感	-53.3%	-100.0%	-50.0%	-50.0%	-33.3%

- 前回（2023年4月～6月）調査に比較して、製造業と建設業が大幅に悪化している様子が窺える。
- 建設業に関しては、前回は好調過ぎており、その反動と分析できる。
- 一方で、製造業については、売上高や経常利益が伸び悩み、人材確保でも苦労している様子が窺える。前回の調査で原油・原材料等の価格高騰の影響が懸念されていたが、それが現実のものとなったと分析できる。また、販売単価のDI値も低下していることから、物価高騰分を販売価格に転嫁できていない様子も垣間見れる。
- 小売業は、相変わらず業績の悪化が続いているが、販売単価に改善の兆しが見えるため、物価高騰の価格転嫁等により、今後は売上高及び経常利益も改善する可能性を期待できる。

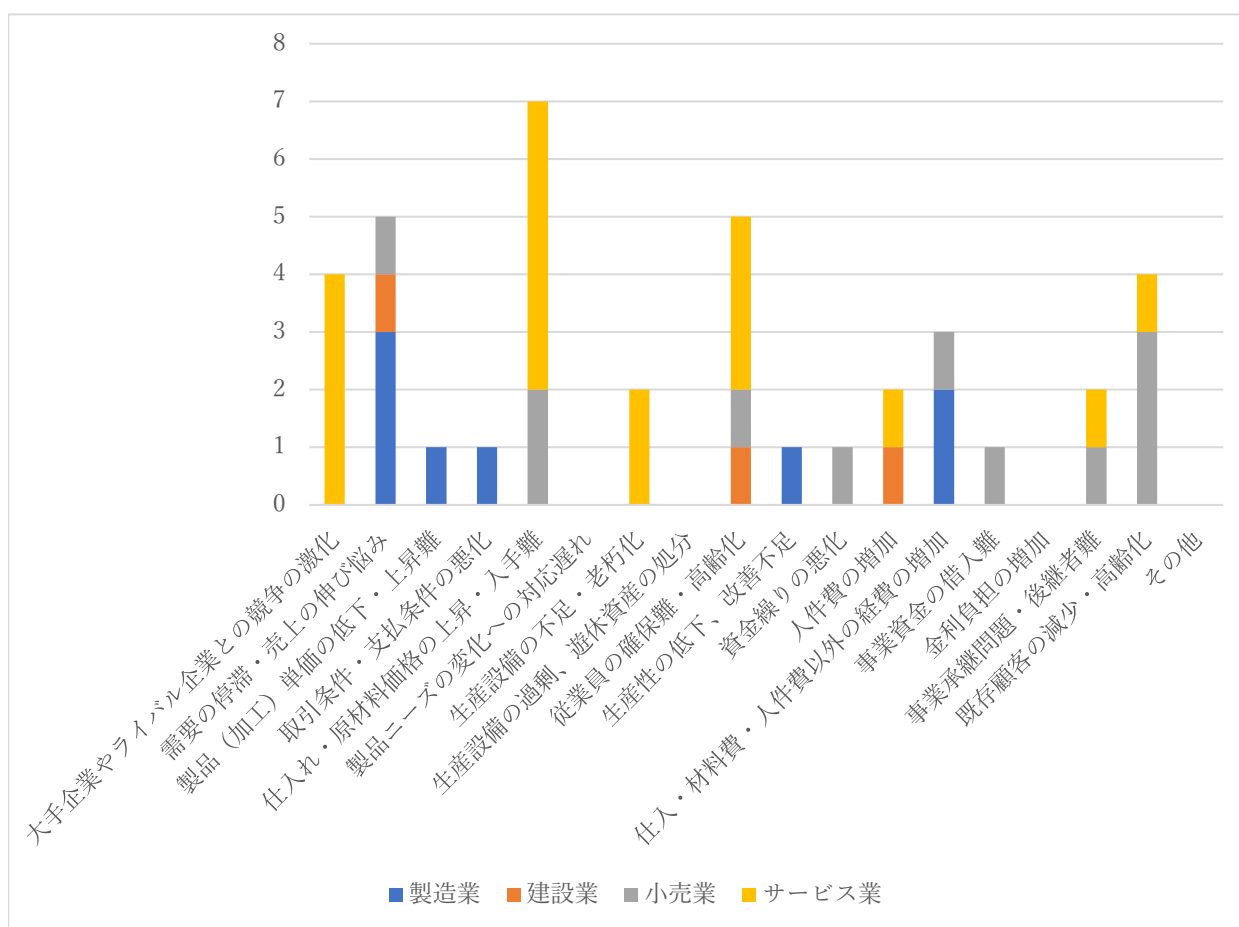
### DI（業況判断指数）

景気局面の判断や、予測と景気転換点の判断に利用される景気動向指標のひとつ。業況下や景況感といった明確に数値化しにくい対象を、比較化することで景況を判定する。

「景気が良い」と感じている企業の割合から、「景気が悪い」と感じている企業の割合を引いたものをパーセンテージで表し、プラスは良好、マイナスは悪化として、その度合いで判定する。

## II. 課題意識調査

図1 2023年7月～9月の課題意識



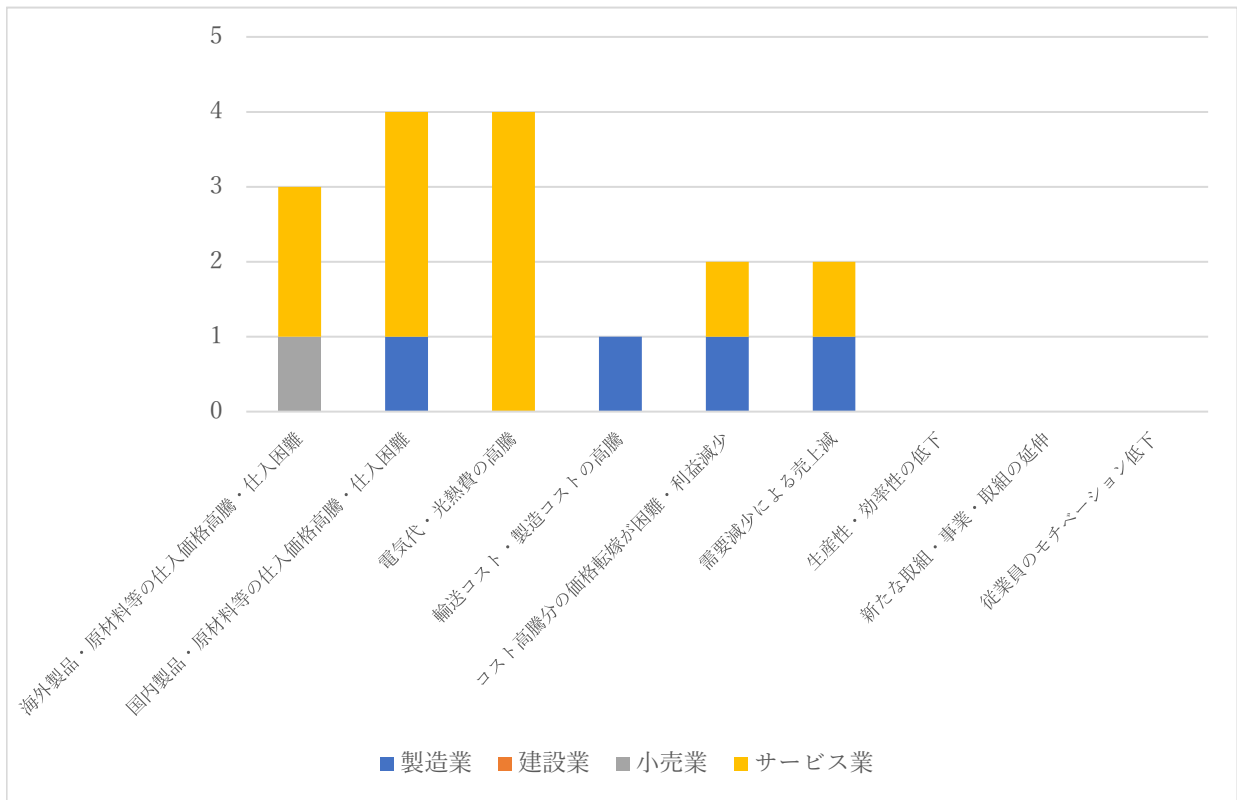
- 製造業において、意識する課題が顕著に増えている。特に、需要の停滞・売上の伸び悩みを課題とする企業が増えている。また売上が伸び悩む状況下で、これに伴い経費増もより負担と意識するようになっている様子が窺える。
- DI 値では好調なサービス業において、前回以上に、課題が増加している。課題は前回と同様に、競争激化と体制不足が際立っているが、さらに数値が悪化しており、裏を返せば、さらに市場が活性化している証とも読み取れる。
- 小売業において、既存顧客の減少・高齡化を問題視している様子が窺え、業績低迷が続く渦中で従来の顧客市場に限界を感じていると推測できる。新たな販路の開拓の必要性を感じていると推測できる。

### III. 原油・原材料価格高騰の経営への影響

表2 原油・原材料高騰による経営悪化状況の推移

	2022年			2023年		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
製造業	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	66.7%	100.0%
建設業	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
小売業	75.0%	75.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
サービス業	50.0%	33.3%	33.3%	66.7%	66.7%	66.7%

図2 2023年7月～9月の原油・原材料価格高騰の具体的な影響



- 製造業において、原油・原材料価格の高騰の影響が日増しに大きくなっている様子が窺える。
- サービス業も変わらず影響が大きいようであり、特に電気代・光熱費の高騰の影響が顕著になっている。
- 一方で、建設業は、これまでもそうだが、依然として、原油・原材料価格高騰の影響をあまり受けていない様子が窺える。

以上